

4-(1)-⑩ 教育力向上の取り組みの概要

令和3年度は、教務委員会とFD委員会が連携しながらのルーブリック研修、学生の現状把握と指導方法に関する研修、学生FD委員の任命や意見交換会、新任教員のための授業ガイドの改定など、その全ては3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）の推進のために実施された。ルーブリックに関する研修では、姉妹校である京都芸術大学との合同研修となったため、選考してルーブリックを先導した知見を得ることができ、多様な意見交換ができた。また、今年度は学生が抱える心身の問題に関する研修も行い、学生相談室に寄せられる悩みを中心にそれに対する指導方法を模索するという形での研修会も実施できた。学生FDとの意見交換会では、リモート授業だけでなく、ポスト・コロナを見据えて、今後の授業で学生が主体的になる為の問題点について学生・教員とともに議論を行った。さらに新しい試みとして、1年生のみを対象とした交流会も開催し、大学生活に慣れない状況下での課題を確認することもできた。これら研修会および学生FDとの意見交換会に関しては報告書を作成し、全学で共有する予定である。

他大学との連携では、今年度は姉妹校である京都芸術大学との合同研修ということで、ルーブリックに関する研修会の他に、FD委員による意見交換会も実施し、シラバスや教授法などさまざまな意見交換をする場を設けることができた。

今後は演習科目へのルーブリック導入に向けて、それを見据えた研修を行うとともに、既に、講義科目で運用されているルーブリックの確認・修正を行うための研修会も実施していく。また、コロナ禍におけるリモート授業により、学生FD委員との意見交換会では「リモート授業においてもっとコミュニケーション能力を伸ばしたい」という意見が多く出た。学生からの意見を真摯に受け止め、高度な知識と技能を得る授業構築だけでなく、コロナ禍によって確立されたオンライン授業のあり方に関しても、教育力向上の重要な取り組みとして実行していく。

区分	機能
第1回 学内研修会	「演習科目ルーブリックの理解」／令和3年6月30日、教職員59名 専門教育演習科目ルーブリックの全学科コース設置に向け、京都芸術大学の先生方からルーブリック実運用の現状や課題について共有いただく場を設けた。事前に各学科コースから質問や課題などを収集し、それに対して、京都芸術大学側から有用な情報やポイントなどを提示していただいたことで、本学におけるルーブリックをに関する理解共有が深まった。参加者からも多くの質問が出され、有意義な会であったとの感想が多数あった。
第2回 学内研修会	「リモート授業の課題について」／令和3年7月7日、教職員18名 1年生のみを対象として、リモート授業の課題について意見交換会を実施。リモート授業に関する良い点、悪い点をテーマに意見交換。参加者からは、「他学科との交流は貴重で刺激的」や「オンライン授業の改善点などがあることに気づいた」など、学生側、教員側の意見を対比させることで、今後のオンライン授業のあり方を考える有意義な機会となった。
第3回 学内研修会	「学習評価の考え方」／令和3年9月17日、教職員46名 大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部作成のドラマFD教材「シリーズ大学の授業を極める」のうち、「学習評価」をオンライン研修として実施。参加者からは、「学習評価の役割や要素が理解できた」や「評価基準の作り方や学習評価のための課題を作ることが理解できた」など、今後の全科目におけるルーブリック導入に向けた授業のあり方を考える有意義な機会となった。

第4回 学内研修会	<p>「学生への心身配慮と指導上のポイントについて」／令和3年12月22日、教職員46名</p> <p>11月に実施したSD研修に関連した研修として、「社会情勢の変化による授業運営上の課題」と「学生のモチベーション低下の把握と維持・向上」というテーマで実施。学生相談室を利用する学生などへの授業課題の取りまかせ方などについて事例を共有することで、各自の教育スキルの向上と授業における指導上のポイントについて平準化促進を図ることができた。</p>
第5回 学内研修会	<p>「ルーブリック策定・運用からの成果向上に係る課題点認知」／令和4年3月17日、教職員7名</p> <p>上記のテーマの他に、「FD課題点、研修状況への理解から、共通課題の抽出と研修アイデア」というテーマについて京都芸術大学のFD委員と本学のFD委員との間で意見交換会を実施。ルーブリックやFD事業における課題認識から次年度に向けた共同FD開催やFD事業のアイデアなどについて考えるきっかけの場となり、有意義な意見交換ができた。</p>
学生FD意見交換会	<p>「学生FD委員との意見交換」／前期 令和3年7月16日、教員13名、学生16名、後期 令和4年1月21日、教員9名、学生16名</p> <p>学内各学科から学生FD委員を選出し授業に対する意見交換を行った。リモート授業における出席方法の統一、学期末に課題が重複することでの負担、テキストや教材を購入させて活用しない、取りたい授業の時間が重複して履修できない、他学科と連携して行う学科横断型の授業に関する要望など、学生委員たちから忌憚のない貴重な意見を収集することができた。ほとんどの教員は、自身が担当している講義以外の内容や形態の情報を持っておらず、シラバスだけの情報では分からない問題点が浮き彫りになった。</p>
授業改善アンケート	<p>令和3年度「授業改善アンケート」を実施</p> <p>前期・後期それぞれに、開講した全科目について、受講学生による授業運営に関するアンケートを実施し、学内共有、担当教員へのフィードバック等授業改善と教育力向上にむけたFD活動への展開などに活用した。</p>
学修成果アンケート	<p>令和4年2月「学修成果アンケート」を実施</p> <p>本学生の学習への意欲、学生としての意識、予習・復習状況等を把握し、教育内容や学習環境の改善にむけアンケートを実施した。</p> <p>調査は、本学生専用の学内学修WEBサイトの回答システムを活用し、全学生の72%から回答を得て、改善活動に活かしている。</p>